

揭示文書

【課題名】 「多中心性キャッスルマン病の臨床、画像病理学的特徴に関する多施設共同研究」

【研究内容】

多中心性キャッスルマン病は、リンパ増殖性疾患であるキャッスルマン病の亜型とされる病気です。一般的にはリンパ節などの組織を採取して病理学的に診断され、ステロイド治療が行われますが緩徐に進行性する疾患です。近年ではトシリズマブなどの新たな治療の有用性が報告され予後の改善が期待されています。しかし、全身のどの臓器に病変を形成しやすいのか、どのような所見を呈することがあるのか不明な点が多くあります。

そこで我々の施設では、多中心性キャッスルマン病と診断された患者様の臨床データ、血液などの検査データ、画像検査の所見について解析を行い、この疾患を適切に発見、診断し、治療に結びつけられるような特徴的な所見を明らかにすることを目的としています。この研究は医学倫理審査委員会の審査を受け、金沢大学医薬保健研究域長の承認を得て行っております。

【対象】

2003年1月1日～2017年1月30日の間に当院及び協力施設（富山県立中央病院、富山赤十字病院、富山市民病院、黒部市民病院、厚生連高岡病院、高岡市民病院、石川県立中央病院、金沢医療センター、福井県済生会病院、福井県立病院、福井赤十字病院）で多中心性キャッスルマン病と診断された患者様を対象とします。

【研究の方法】

各病院で撮影された超音波や、CT、MRI、FDG-PET といった画像検査や手術で得られた病理所見、カルテ情報の調査により多中心性キャッスルマン病の評価を行い、臨床的特徴や診断に有用な画像所見を明らかにします。

【個人情報保護への配慮】

この研究で得られた個人情報は匿名化され、厳重に管理されます。研究成果は学会や論文等で発表されますが、個人情報は一切公表されません。

【研究への参加・不参加および同意撤回の自由】

この研究に参加されるかどうかはご本人の自由であり、参加・不参加によって今後の診療に利益、不利益が生じることはありません。上記の研究対象に該当する患者様で、参加辞退のご希望がありましたらお手数ですが、2017年12月31日までに以下の窓口までご連絡をお願い致します。

金沢大学医薬保健研究域医学系経血管診療学（放射線科）

研究責任者 吉田耕太郎 電話 076-265-2323（放射線科医局）